

学科・専攻	電子・情報工学	学籍番号	1815070	氏名	武藤 克弥
題目	発想支援システムの Blockly 化 & オリジナル部分の考察				

報告日までの取り組み

PDCA サイクル	設定目標 (P)	A: ツイッター側のブロック実装に取り組んだ B: 研究としてどの部分でオリジナリティを出せるのか, 数学的アプローチができそうかを調査すること
	取組内容 (D)	A-1: ツイート文スクレイピングブロックのテキスト出力を csv に変更すること A-2: 「形態素解析ブロック」の出力が「・ソ」のみになってしまう問題の解決 A-3: 残りのブロックの実装
	課題整理 (C)	A-1: ツイート文スクレイピングブロックを完成させた A-2: 正しく形態素解析されるように cgi を修正した A-3-1: 「頻出単語抽出ブロック」で単語表 (サイズ 6 千 x6 千) の csv がメモリ不足で読み込めない問題が生じた A-3-2: 「単語のランクづけブロック」で入力ファイル未処理で出力されてしまう問題が生じた
	改善方策 (A)	A-3-1: サーバーにアップロードできるファイルのサイズ上限を変更する (数百 M バイト) A-3-2: JSON で送るときのデータフレームの形式を調整する

報告日

やりたいことより, やるべきことを	コメント (出席者)	
	備忘録 (自分)	A-3-1 「頻出単語抽出ブロック」と「形態素解析ブロック」のソースコードをつなげて解決 1. グラフ化することでのアドバンテージ 2. 3D グラフ (共起グラフ) の関連研究 (生産管理・交通など) を調べ, どんな課題が残っているのか問題定義を考える